

# 議 事 録

|                   |      |  |                   |   |  |
|-------------------|------|--|-------------------|---|--|
| 公開・一部公開・非公開       |      |  | 非公開<br>部 分<br>理 由 |   |  |
| 市長                | 副市長  | 企画振興部長   | 文化・スポーツ<br>振興課長   | 保存期間  | 30( )・10・5・3・1・随                               |
|                   |      |  |                   | 作成日   | 令和7年2月21日                                      |
| 文書管理責任者           | 文化係長 | 館長   | 文化振興係             |   | 記録者所属 企画振興部<br>文化・スポーツ振興課<br>文化振興係<br>依田 竜之介 印 |
| 会議等の名称            |      | 令和6年度<br>丸山晚霞記念館運営委員会  |                   | 開催日時  | 令和7年2月19日（木）<br>午後2時00分～<br>午後3時30分            |
|                   |      |  |                   | 場所  | 東御市役所 第三委員会室                                   |
| 主催者（事務局）          |      | 東御市企画振興部<br>文化・スポーツ振興課文化振興係  |                   | 司会進行  | 井上祐一（企画振興部長）                                   |
| 出席者<br>（敬称略）      |      | 実行委員：木内真由美、滝澤正幸、直井良一、早川一夫、林誠、武田敦子、矢島守、塚田篤<br>計8名<br>事務局：井上祐一、高橋則幸、日向大季、依田竜之介、佐藤聡史<br>計5名         |                   |   |  |
| 欠席者<br>（敬称略）      |      | 柳沢正和、増田敏   |                   |   |  |
| 会議事項              |      | 報告事項<br>(1) 令和6年度運営状況について<br><br>審議事項<br>(1) 令和6年度取得作品（案）について<br>(2) 令和7年度事業計画（案）について<br><br>その他 |                   | （配布資料）<br>・会議次第<br>・報告事項資料<br>・審議事項資料<br><br>計14ページ |  |
| 決定事項<br>（要点を箇条書き） |      | ・「令和6年度取得作品（案）」について妥当と答申する。<br>・「令和7年度事業計画（案）」について妥当と答申する。                                       |                   |   |  |
| 次回への検討事項          |      |  |                   |   |  |
| 次回開催予定            |      |  |                   |   |  |

| 次第                          | 発言者            |   |
|-----------------------------|----------------|---|
| 1 開会                        | 司会<br>(企画振興部長) |   |
| 2 市長あいさつ                    | 副市長            | (あいさつ)  |
| 3 運営委員会の役割について              | 事務局 (高橋)       | 丸山晚霞記念館条例15条の規定により「記念館の適正かつ円滑な運営を審議するため、丸山晚霞記念館運営委員会を設置する」としています。                 |
| 4 役員の選任                     | 司会             | 役員の選任を行います。会長、副会長については施行規則第4条の規程により互選によるものとされています。                                |
|                             | 直井委員           | 事務局から提案はありますか。<br><br>事務局案として会長に林誠委員、副会長に滝澤正幸委員、柳沢正和委員にお願いしたいと考えています。<br>いかがでしょうか |
|                             | 委員             | (異議なし)  |
|                             | 司会             | ご賛同により会長に林誠委員、副会長に滝澤正幸委員、柳沢正和委員を選任いただきました。それでは会長、副会長は席をご移動いただきます。                 |
|                             | 司会             | 会長からあいさつをお願いします。  |
|                             | 林会長            | (あいさつ)  |
| 5 諮問                        | 司会             | 諮問にうつります。   |
|                             | 副市長            | (諮問)  |
| 6 報告事項<br>(1)令和6年度運営協状況について | 司会             | 報告事項からの進行は当該条例施行規則の規程に基づき、林会長をお願いします。   |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>林会長</p> <p>事務局（佐藤）</p> <p>林会長</p> <p>滝澤副会長</p> <p>事務局（館長）</p> <p>滝澤副会長</p> | <p>（１）令和６年度運営状況について事務局から説明をお願いします。</p> <p>※令和６年度 事業実績（要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は、９月に、版画家吉田遠志の日本初の回顧展である「吉田遠志展」を実施。</li> <li>・「吉田遠志展」開催にあたっては、展示のほか、絵本の読み聞かせやスペシャルコンサートなどの多岐に渡るイベントを計７回開催した。</li> <li>・年間の来館者数は、昨年度に比べて増加した。</li> <li>・教育普及活動については、市内外の学校において主に表現活動に特化した授業を行った。鑑賞事業については、昨年度から市内全小中学校で「朝鑑賞」に取り組んでいる。</li> <li>・どんどこ巨大紙相撲大会が２月２２日に控えている。</li> <li>・収蔵品の貸出実績については、同市梅野記念絵画館に寄託品を貸し出している。</li> <li>・博物館実習生については、専修大学文学部より１名受け入れ、主に企画展の展示作業や教育普及活動に参加してもらった。</li> <li>・視覚障がい者との対話鑑賞について研究している京都教育大学の日野陽子教授より、丸山晚霞作品の触図を作成したい旨の申し出があった。</li> </ul> <p>令和６年度の事業運営の状況に関して、意見、質問等あればお願いします。</p> <p>来館者数に関して、昨年度から大きく増加しているのはなぜですか。</p> <p>昨年度は、丸山晚霞とゆかりのあった人形作家・高橋節とその姪・高橋久美子の作品を展示する「高橋節・高橋久美子人形展」を実施しました。人形という普段見慣れないジャンルの展示であったため、来館者が振るわなかったのではないかと考えています。</p> <p>全体でみると来館者数は増加したものの、「吉田遠志展」での来館者は予想より少ない結果となりました。しかし、NHK『日曜美術館』内や、版画専門誌『版画芸術』で取り上げられ、日本の版画史における吉田遠志展の位置づけとしては意義があったのではないかと考えます。</p> <p>「吉田遠志展」に関して、日本初の回顧展ということで挑戦的な開催で素晴らしかったと思います。丸山晚霞記念館で</p> |
|--|---|--|

開催した理由として、吉田遠志の父・吉田博と丸山晚霞との繋がりがあると思います。その他に、丸山晚霞記念館として動物に力をいれているように思いますが、吉田遠志が描く動物との繋がりもあるのですか。

事務局（館長）

当館では、これまで動物をテーマにした展覧会も行ってきましたので、作品を調査するなかで、動物がモチーフとなっている吉田遠志の作品を見て、とても良いと感じました。しかし、それよりも、吉田遠志という人間を正面から伝えたいと思いました。特に、社会情勢が不安定になっているなかで、彼が生涯を通じて訴えた「平和と共存」を当展覧会を通じて伝えたいと考え、彼の多岐にわたる作品を展示する内容としました。

林会長

全体を通して多くの教育普及事業を行われていますが、特に企画展に絡めたものはありますか。

事務局（館長）

企画展のイベントとして、9月16日には「親子鑑賞教室&絵本の読み聞かせ」、10月26日には「絵本の朗読&スペシャルコンサート」、11月9日には、「木版画ワークショップ」を実施しました。絵本に関しては、吉田遠志が出した、アフリカの野生動物を題材とした絵本を取り上げています。

林会長

意欲的に教育普及事業に取り組まれていることに感心します。雷電にかかわる活動についても、紙相撲大会のような長く続くものが生まれたらいいと思います。

その他に、ご意見やご質問がある方はいらっしゃいますか。

それでは、6審議の(1)令和6年度取得作品（案）について、事務局より説明をお願いします。

7 審議事項  
(1)令和6年度取得作品  
（案）について

事務局（館長）

※寄贈作品の説明

林会長

佐藤館長から説明ございましたが、こちらについて、ご質問等ございましたら、発言をお願いします。

それでは、本年度の新収蔵作品ということ、ご了解いただいたということでしょうか。

（異議なし）

|  |                                      |  |
|--|--------------------------------------|--|
| <p>6 審議事項<br/>(2)令和7年度事業計画<br/>(案)について</p> | <p>林会長</p> <p>事務局（館長）</p> <p>林会長</p> | <p>それでは、(2)令和7年度の事業計画（案）について、説明をお願いします。</p> <p>※令和7年度 事業計画（要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展は収蔵品を中心に3回実施予定。</li> <li>・企画展として、水彩画展（10月～12月）を開催。福島県郡山市立美術館及び個人コレクターの明治期水彩画コレクションを中核にし、明治期における水彩画の歴史を大局的に展観できる内容とする。</li> <li>・日本の水彩画の黎明期から発展期となった明治期の作品を取り上げる。</li> <li>・新しい教育普及活動として、社会福祉協議会子どもの居場所づくり事業と連携した取り組みを行う。</li> </ul> <p>令和7年度事業計画（案）について、ご意見、ご質問ございましたらお願いします。</p> <p>企画展については、歴史的になりすぎないように、美術館ならではの水彩画展にさせていただけたらと思います。個人コレクターのコレクションや郡山市立美術館のイギリス美術と合わせて鑑賞することで地域の作品が輝いて見えることもあると思いますので、楽しみにしています。</p> <p>それでは、6の審議(1)、(2)とも終了で、適当である旨答申したいと思いますが、異議ございませんでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは適当である旨、答申させていただきますので、事務局で答申案を作成するので、しばし休憩とします。</p> <p>(休憩)</p> |
| <p>8 答申</p>                                | <p>林会長</p> <p>事務局（日向）</p> <p>林会長</p> | <p>答申案の作成、ありがとうございました。それでは、事務局より答申案につきまして朗読をお願いいたします。</p> <p>(答申案読み上げ)</p> <p>ただいま朗読いただきました内容について、後日、花岡市長に答申書をお渡し申し上げたいと思います。</p> <p>運営進行にご協力いただきまして、重ねて御礼申し上げます。それでは、事務局に司会をお返しいたします。</p>   |

9 その他

司会  
(企画振興部長)

ありがとうございました。続いて9その他について、皆様より何かございますか。

皆様、長時間にわたりまして慎重なご審議、ありがとうございました。それでは、閉会に移らせていただきます。閉会の言葉を滝澤副会長お願いします。

滝澤副会長

以上をもちまして、令和6年度の丸山晚霞記念館運営委員会を終了させていただきます。ありがとうございました。